

【9月1日は防災の日】

○ハザードマップを確認しましょう

防災対策をするうえで、日常生活の中でどのような災害リスクがあるか把握しておくことが大切です。ハザードマップでは、普段から自分が住んでいる地域で災害が発生したときに被害が想定される場所や避難場所などの防災情報を地図上で確認することができます。

また、ハザードマップは、紙媒体での配布に加え、町ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご確認ください。



QRコード
(ハザードマップ)

○備蓄品は“最低3日分”用意しましょう ※1週間分があると安心です

非常持出品は災害時にすぐに持ち出せるように、事前に準備しておきましょう。

非常食の例（人数分用意しましょう）

- ・飲料水：1人1日3Lが目安

- ・非常食：調理せずに食べられるものを3日分

ごはん（アルファ米が便利）、缶詰、カップ麺等



※町ハザードマップP11「非常持出品・非常備蓄品を備えよう」をご参照下さい

○新型コロナウイルス流行禍での避難

感染症が心配される中での避難所では、感染リスクが高まるおそれがあります。感染拡大を防ぐため、分散避難の検討や避難時の衛生用品の携行についてご協力をお願いいたします。

避難情報が発令された場合の分散避難の検討
自宅が安全かどうか、日頃からハザードマップで確認しましょう

安全な場合	危険な場合		
在宅避難（動かない避難） 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。最低限3日分の備蓄品の準備をしておきましょう。	安全な場所に住む 親戚・知人宅 日頃からコミュニケーションをとり、相談しておきましょう	車中泊 周辺状況の安全を確認し、浸水しないよう十分確認しましょう 換気や運動を心がけ、一酸化炭素中毒やエコノミークラス症候群、熱中症などに十分注意しましょう	宿泊施設
指定避難所			
<ul style="list-style-type: none"> ○マスク・消毒液・体温計を携行しましょう ○避難所に入る前に検温・体調チェックをしましょう。 ○避難所に入ったら、以下のことに注意しましょう <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用 ・こまめな手洗い・消毒、咳エチケット等の徹底 ・避難者同士のスペースを確認し密を避ける 			

※町ハザードマップP6「避難の判断について知っておこう」抜粋

○防災行政無線

町では災害時における緊急放送や町からの行政情報をお知らせするため防災行政無線（屋外拡声器・戸別受信機）を導入しています。

戸別受信機：・全世帯を対象に貸与可能

・停電時でも緊急放送が受信できるように乾電池が内蔵



※定期的に電池の残量を確認し、受信機上部にある「乾電池」と表示のあるランプが赤く点滅したら新しい乾電池と交換するようにして下さい。（乾電池は自己負担での交換となります）

各家庭に設置する戸別受信機の設置については強制するものではありませんが、皆様の安全・安心を支える情報提供の手段となりますので、ご協力の程お願いいたします。

なお、戸別受信機の貸与を希望される方は、総務課防災担当までご相談下さい。